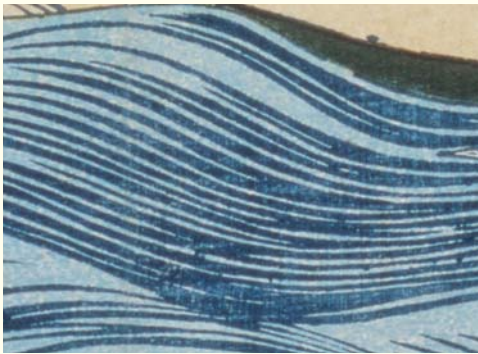


【作品の見どころ】



《図一》シルエットで描かれた富士山



《図二》克明に描かれた波

「富嶽三十六景」の中には、墨田区にとつてなじみ深い風景を描いた作品があります。

御厩川岸おんまがしの渡しは、現在の墨田区本所側と台東区蔵前側とを結んでいました。この作品は、現在の本所一丁目3番辺りにあつた渡し場から舟が離れたところで、両国橋の向こうに富士を望むという構図になっています。細長く描かれた橋が、画面に遠近感を与えています。夕暮

北斎の描いた『すみだ』

⑦

～ 御厩川岸 ～

れの中にシルエットで描かれた富士山

《図一》の美しさには、当時の人たちも心を奪われたことでしょう。

穏やかな隅田川ですが、この渡し舟の周りだけは克明に波

《図二》が描かれていて、見る者に動きを感じさせています。

描かれた人たちの仕草からは、くつろいだ雰囲気を感じられ、一日の終わりを表現した作品に仕上がっています。



【発行】
墨田区民活動推進部
文化振興課
北斎美術館開設担当
(墨田区役所1階)
☎03-5608-6115

【編集協力】
(公財)墨田区文化振興財団
北斎事業課



「富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見」(大判錦絵) 天保2(1831)年頃

展覧会

北斎のバードアイ

空からの江戸見物

多くの皆様に「北斎の魅力」や「すみだと北斎との関わり」について知っていただくため、区所蔵の北斎作品による展覧会「祝 東京スカイツリー® 開業 アンコール 北斎のバードアイ-空からの江戸見物-」を開催します。

本展では、今年5月に開業した東京スカイツリーの天望回廊® から見渡せる範囲にある名所を、想像力豊かな北斎が高い視点からどのように描いているか紹介します。

展示構成

- 「360°パノラマビュー 江戸といま」
- 「羽ばたく北斎の視点 鳥瞰図」
- 「匠の技へのまなざし ものづくりすみだへ」

主な展示作品

- 新板浮絵両国橋夕涼花火見物之図
- 富嶽三十六景 東都浅草本願寺
- 富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二
- 東海道名所一覧
- 新板浮絵浅草金龍山之図
- 元禄歌仙貝合 きぎへ貝
- 富嶽三十六景 尾州不二見原
- 今様櫛搔雛形 くしの部

- 会期 平成24年9月12日(水)～10月1日(月) 会期中無休
- 開場時間 午前9時30分～午後6時(金曜日は午後7時30分まで)
※入場は閉場の30分前まで
- 会場 すみだリバーサイドホール ギャラリー(墨田区役所1階)
- 観覧料 一般500円、区民割引料金300円
※高校生及び18歳未満の方、並びに65歳以上の方は無料
※身体障害者手帳及び愛の手帳の交付を受けている方とその付き添いの方1名は無料
- 問い合わせ 北斎展実行委員会事務局(文化振興課北斎美術館開設担当内) ☎03-5608-6115



奉納絵額「須佐之男命厄神退治之図」

本所一帯の総鎮守である牛嶋神社(墨田区向島一丁目4番5号)には、北斎が晩年に描きあげた縦四尺二寸(約二二六センチメートル)、横九尺二寸(約二七六センチメートル)という大きな肉筆の絵額が掲げられています。大正十二年(一九二三年)の関東大震災によって焼失してしまいましたが、幸にも明治時代に撮影された写真が現存しており、図柄については分かっています。ただし、色彩については、調査をしたものの明確な資料がなく、ご存知の方を探しています。

画面は牛嶋神社の祭神である須佐之男命が、退治した疫病神から、二度と悪病を流行らせないように証文を取っている場面です。現在、牛嶋神社の社殿に入っただけで左側に原寸大の復元パネルが掲げられています。北斎の迫力ある作品を間近でご覧ください。

